

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	－	－
		一般小売店〔精肉〕 (店長)	・今月はギフト商品の動きが多少悪かったが、これは参議院議員選挙も一因と思われる。今後は当該選挙も終わり良くなる期待感もあるため、2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		百貨店（営業担当）	・3か月先の10月になると、アパレルフロアではコート、婦人靴コーナーではブーツの本格的な打ち出しなど、重衣料をメインとした展開に入ることより、今より客単価が伸びることが予想される。また、お歳暮の早期予約も10月末より始まり、近年早期予約の受注量が増えていることから、現状よりやや良くなるのではないかと予想される。
		スーパー（店長）	・今の流れを考慮すると、これからも来客数の動きも含めて伸びてくるのではないかとと思われる。
		乗用車販売店（経営者）	・秋口には新型車の投入などを予定しているため、販売については増加が期待できる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・客単価の低下傾向が緩やかではあるが回復している。いまだに前年同月割れではあるが、今後のギフト商戦などに期待が持てる。
		一般レストラン（スタッフ）	・店舗の売上及び来客数ともに、今のところ、前年同月比に比べて多少好調であることより、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は弱いものの景気好転の兆しがあるため、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		旅行代理店（従業員）	・参議院議員選挙後の景気回復傾向により、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
		タクシー運転手	・早い時間帯の夜の繁華街には人が多少戻ってきているような感じを受けるため、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		住宅販売会社（経営者）	・客の様子から、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
	住宅販売会社（従業員）	・長期金利の上昇について新聞などの記事も増えているため、金利が低く消費税率も引き上げられる前に住宅を求めようと、親が子供のために動いているケースも増えており、今の状況はもう少し続くと思われる。ただし、消費者の動きは例年より多く、今後契約件数は間違いなく増えると思う。	
変わらない		商店街（代表者）	・今後2～3か月先の状況については、現状の悪い状況が続くと思われる。
		商店街（代表者）	・価格上昇が発生しているが、原料費の値上げに起因するものであり、消費の拡大が要因ではない。なお、当該費用に同調して値上げできる小売店はまだ良いが、大多数は自店で仕入れの上昇分をかぶり、さらに値下げして販売しないと売れない状況が続くと想定されるため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
		一般小売店〔事務用品〕（役員）	・営業会議においても数か月先の見込みがあまり無い状況にある。また、客は慎重に市場を見極めていくように思われ、まだまだ期待できるような動向は見込めないと想定される。
		百貨店（売場主任）	・高額商品に動きはあるものの中間層に景況感の実感が乏しく、しばらくは市場動向をみる動きになる。また、秋物商品もトレンドに大きな変化が無く、顧客のモチベーションをいかに上げるかが鍵となるため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想される。
		百貨店（営業担当）	・夏物の処分期に入り、価格的にはかなり下がってきたところであるが、例年であるこの時期にはまとめ買いのような消費行動になるが、今年に関しては1点の物を慎重に選んで購入している。安さから2～3枚買うといった購買行動は、少なくとも前年からみると大分少なくなってきた気がするため、先行きは多少暗いような気がするが、今後2～3か月先の状況については今月と変わらないと予想する。
		百貨店（営業担当）	・7月末の集中豪雨やゲリラ豪雨の影響により、洋服の購買意欲が低下していくように感じられ、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
		百貨店（一般顧客訪問担当）	・アベノミクスにより株価などが上向きになっているが、現実のところ一部の景気が良くなっているのみであり、ほとんどの人は収入が増えず支出を抑える傾向が続くと思われる。

スーパー（店長）	・スーパーにとって重要なお盆の商戦を迎えていくが、現在の客の様子をみても高額商品が売れにくい状態は依然として続いている。また、お中元商品を含めてもまだ動きは活発化していないと思われることより、今後2～3か月先の状況については変わらないと想定される。
スーパー（総務担当）	・高額商品の売行きが伸びたという実感が無く、客単価も伸びていないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
スーパー（総務担当）	・特に生活必需品などの消費者の購買意欲はやや上向きとはいえ、ガソリンの値上げなどにより支出が増えているが給与はほぼ変わらない状況にあるため、まだ景気が良くなるとは思えない。
スーパー（統括）	・客の買物動向については、実状的には現在も変わっていないし今後も変わる傾向が無いように見受けられる。具体的には、世の中全般的には景気が上向きといわれているが、買上点数及び客単価ともに上がる傾向は無く、また、より多くの物を客が求めているという感じは見受けられない。
コンビニ（経営者）	・今月は、一部の商品において高単価商品の販売状況は良いが、全体的には低単価商品の販売が好調であり、トータル的にみると売上は良くはない。なお、今後も改善の見込みは無いと想定している。
コンビニ（店長）	・来月より本格的な夏に入り、今月の好景気は天気が偶然良かったことに起因するものであったのか、あるいは本当に景気が上向いていることに起因していたのかが分かる重要な月であると思っている。なお、今年初めから7月まで前年同月を割っているため、今後2～3か月先の状況は良くなることは判断できない。また、外的要因において、前年同月を割る要因は無い。
コンビニ（店舗管理）	・所得が上がっていかない状況のなか、消費者の価格への意識は次第に高まっているように思う。食品や雑貨などの売上はディスカウントストアやドラッグストアへ流れ、コンビニエンスストアは苦戦を強いられると想定されるが、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。米飯での売上確保が精一杯であると想定している。
衣料品専門店（経営者）	・今後とも、極端に買物動向に大きな変化を予測しづらく、変わらないものと思われる。
衣料品専門店（経営者）	・ガソリン及び食料品など値上がり次第に進んでおり、一般消費者の生活は逆に苦しくなっているとほとんどの人が口説いている。ただし、自民党の政策に期待はしているため、今後2～3か月先の状況は今月と変わらないと予想する。
衣料品専門店（総括）	・現状の客の様子をみていると、改善されるようには思えない。
家電量販店（店長）	・4Kテレビなど話題の商品はあるがテレビは単価が下がるとされており、また、全体的な販売数量が大きく伸びることは無さそうであるため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
家電量販店（店長）	・季節的要因により一時的に売上が増加する部門もあるが、その後の反動により落ち込み、通期で見ると実績は上がっていない。また、ボーナス需要も前年並みであり、高付加価値商品の販売にはつながっていないことより、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
家電量販店（管理本部）	・一部の客に高付加価値商品が売れているが、季節要因以外による販売量の変動が無いため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
乗用車販売店（従業員）	・今月は天候などの影響もあり来客数は少ないが、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
乗用車販売店（役員）	・アベノミクス効果のような傾向は一時はあったが、最近の為替相場及び株価の推移のとおり改善一辺倒ではないため、景気も一進一退の様相を呈しており、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
住関連専門店（店長）	・今後2～3か月先の状況についてはこの傾向は変わらないと予想する。しかし、消費税率引上げのスタート時においては、反動から良くなることは無く、悪くなることと想定される。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・景気は底の状態が続いていると思っているため、これ以上悪くなることは無いということを信じて、今後2～3か月先の状況は変わらないと想定している。とにかくできるだけロスを少なくするために様々な工夫はしているが、それでもやはりロスが出てしまうという本当に売れないという状態が続いている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・今年の1月からの傾向として、客は単価の安い所で購入しているため、まだ景気が上向きになったとは考えられず、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。

	<p>その他専門店〔医薬品〕（総務担当）</p> <p>高級レストラン（スタッフ）</p> <p>一般レストラン（店長）</p> <p>スナック（経営者）</p> <p>観光型旅館（経営者）</p> <p>観光型旅館（スタッフ）</p> <p>都市型ホテル（スタッフ）</p> <p>タクシー運転手</p> <p>通信会社（職員）</p> <p>通信会社（営業担当）</p> <p>通信会社（役員）</p> <p>通信会社（営業担当）</p> <p>通信会社（役員）</p> <p>テーマパーク（職員）</p> <p>競輪場（職員）</p> <p>美容室（経営者）</p> <p>住宅販売会社（従業員）</p> <p>住宅販売会社（従業員）</p> <p>住宅販売会社（従業員）</p>	<p>・消費傾向は食品や身の回り品が中心であり、ドラッグストアが売りたい化粧品やダイエット商品への支出は絞られている。また、低価格品へのシフトは続いており、この傾向は今後も継続すると思われる。</p> <p>・個人利用の増加分が法人利用の減少となっている流れが1年以上経過したが、今後2～3か月先の状況についても大きな変化は考えられない。</p> <p>・株価も不安定で一喜一憂が続くなか、アベノミクスは地方では実感が無いのが現状である。まだ、継続して良くなるとは考えにくい。</p> <p>・ボーナスシーズンでさえ期待できないなかで、明るい社会の雰囲気があったとしても、生活費などが上がっていく状態においては、そのほか大勢は大変厳しくなるのではないかと思われ、今後2～3か月先の状況については今月とほとんど変わらないと予想する。</p> <p>・秋から冬場に掛けて大型団体の受注に成功しているが、秋口の需要が前年同月より少ないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。</p> <p>・宿泊予約状況は7月は前年同月比100%、8～9月は同116～119%となっており、今のところ好調であることより、今後2～3か月先の状況については今月と変わらないと予想する。</p> <p>・製造業は受注増とのニュースはみるが、サービス業は回復の実感が無い。加えて、重油や輸入食材やすべての仕入れ値が上がっており、それを価格転嫁できないため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。</p> <p>・今年は例年になく猛暑であり、9月ごろまでは暑いと想定される。大きなイベントには人は集まるがそのほかには静かでありあまり期待できないため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。</p> <p>・消費税率引上げが決定される秋ごろまでは様子見が続くと思われ、新製品に対しても一気に買換えなどが進むような兆候は今のところみられない。</p> <p>・来客数は相変わらず横ばいであり、特に変化を感じられない。また、客のコスト重視の傾向にも変化がみられないため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。</p> <p>・夏季賞与が増額傾向との報道もあるが、家計の余裕度が増したとの実感は薄く、高度なサービスの利用の拡大には結び付いていないため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。</p> <p>・既存機種の下げが見込まれるため、若干なりとも販売数が増加すると思われるが、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。</p> <p>・地元大手製造業の賃金が上がった様子も無く、地元の景気についてはしばらくはこのまま変わらず推移すると考える。</p> <p>・引き続き為替が円安傾向にあるため、海外の客の利用者数は前年同月比で増加傾向にあるものの、国内の客の動きがやや鈍く、先行の予約も当該比を割っているため、全体としては現在の状況が続くのではないかと感じている。</p> <p>・ギャンブルにお金を使う余裕はまだ無いように感じるため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。</p> <p>・生活用品の値上がり感が強く、消費意欲がわいてこない。</p> <p>・例年これから、いわゆる夏枯れ状態に入る。前月あたりから展示場の来場者数は減少し始めているが、引き続き商談件数は例月並みを確保しており、維持するものと期待している。</p> <p>・消費税率引上げの影響が9月末まで続くと思われるため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。</p> <p>・9月末までの請負契約については現在の消費税率が適用され、それまでの間は客の動きが慌ただしいと想定されるため、2～3か月後の状況は変わらないと予想する。</p>
やや悪くなる	<p>一般小売店〔書籍〕（従業員）</p> <p>コンビニ（経営者）</p>	<p>・包装資材の値上げが決まっており、かつ、油脂類の価格が上昇していることなどにより、身の回りの景気が良くなるとは思えない。</p> <p>・来月には近隣に他のチェーン店の出店が噂されており、出店直後は売上の減少は必至であると覚悟しており、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると想定している。</p>

	自動車備品販売店（従業員）	・消費税率引上げ問題により、購入優先商品が車や家などに集中しており、客の声からもほかの消費は必要最低限に絞り込んでいる傾向にあるため、小売業では先行き不安定な状況が続くと感じており、今後2～3か月先の状況はやや悪くなると予想する。	
	旅行代理店（従業員）	・受注高も伸び悩んでおり新規の企画依頼の動きが無いため、このままでは景気回復が腰折れになってしまわないか懸念され、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。	
	その他レジャー施設（職員）	・カルチャー教室の競合店による商圏内への進出が打ち出され、今後一層入会の獲得が厳しくなると想定される。	
	悪くなる	—	
	良くなる	—	
企業 動向 関連 (北陸)	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・国内市況の回復については時間が掛かりそうであるが、輸出関連における引き合いは増えており下期においては受注増が期待されるため、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
		繊維工業（経営者）	・衣料分野については仮需要が前年よりも増えると思われるため、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想される。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・間違いなく消費税率引上げの影響は今後2～3か月先にはかなり出ているとみられるため、当該時期の状況はやや良くなると予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合より、当該時期の状況はやや良くなると思われる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・3Dプリンターの話題がマスコミなどで取り上げられていることより、当社の機械も注目を集め、本格的な受注につながってきており、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		精密機械器具製造業（経営者）	・既存商品群は現在とほぼ同レベルの生産量を計画しているが、今後異業種関連の仕事が加わる見込みであり、順調にいくと全体的な生産量のレベルは上昇していくと思われる。
		建設業（経営者）	・アベノミクスによる4～6月の工事発注の増加を期待していたが、国からはそれなりにあったが県及び特に市からの発注についてはあまり無かった。天候の良い時に工事ができなくては利益も上がらない。しかしここに来てようやく発注され始めたが、今度は一時期に集中して発注された場合、技術者や資材不足により受注を見合わせたり、受注してもスムーズに施工できない状況になるのではないかと懸念されるが、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		建設業（総務担当）	・工事業の増加に伴う人員配置が難しい状況にあるが、消費税率引上げの影響もあり、前倒しでの工事発注が見込まれるプラス材料があるため、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
		金融業（融資担当）	・政府の政策次第であると思っており、従来型のパラマキに終始するような形になればいずれ失速してしまうのではないかと懸念はあるが、どれだけ規制緩和できるかに期待し、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
		金融業（融資担当）	・輸出企業の受注が回復し、円安のメリットが出てきていると考えられるため、今後2～3か月先の状況はやや良くなると予想する。
		司法書士	・建物の新築及びマンションの購入については、消費税率引上げ前の駆け込み需要は続きそうであることより、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
変わらない	食料品製造業（役員）	・受注量や販売量の増加と原料や資材の高騰が相殺される状況が続くと予想されるため、今後2～3か月先の状況は変わらないと思われる。	
	化学工業（総務担当）	・今後の受注及び生産計画については、今月と変わらず推移する予定である。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・新興国のインフレ問題や成長鈍化などにより輸出が伸び悩む状況が、しばらくは継続すると考える。	
	輸送業（配車担当）	・円安によるコスト負担、特に燃料費が高騰していることによるコスト増により、なかなか利益が出ない状態が良くなるとは思えない。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・参議院議員選挙運動期間中はチラシの出稿量が抑え気味となり、当該期間終了後は出稿量が増えるの見込んでいたが、期待したほどでは無かった。なお、今後2～3か月先の状況についてもこうした調子が続き、今月と変わらないと予想する。	

	やや悪くなる	通信業（営業担当）	・通信機器やネットワーク商品など、全般的に売行きが落ちてきているため、今後2～3か月先の状況はやや悪くなると予想する。
		不動産業（経営者）	・周りの話を聞く限り、少し活発な動きが収まってきており、良い話がなかなか出ないのではないかと想定されることより、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。
		税理士（所長）	・輸出関係のすそ野が一時伸びつつあったが、今は一服している。やはり円安傾向がもう一段加速する必要が本来はあるのではないかと思う。また、相場が動くことにより様々な事業者が現在貿易取引を多少止めているような状況にあり、企業在庫についても多少増えているのではないかと懸念されるため、今後2～3か月先の状況についてはやや悪くなると予想する。
	悪くなる	—	—
雇用 関連 (北陸)	良くなる	—	—
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・建設業や住宅業などの求人数は堅調に推移していると思われる。それに加えて、当該業種以外の業種からの求人広告も比較的出てきているため、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると予想する。
		職業安定所（職員）	・求職者の動きが鈍いような気がしており、求人が増えているにもかかわらず、転職希望の在職者や自己都合離職者が減少している。なお、内容は決して良い傾向ではないかもしれないが、新規求人の増加が続いているため、今後2～3か月先の状況についてはやや良くなると想定される。
		職業安定所（職員）	・求人の増加要因として、製造業への派遣求人数の増加が考えられることより、徐々に良くなるのではないかとと思われる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・消費税率引上げ前の住宅関連などの需要拡大に伴う雇用増が期待される。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・求人側の条件に合ったスキルを有した人材が少なく、マッチングが成立しない状況にある。また、景気回復が表面化するのはまだ先と思われる企業が目立つため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
		人材派遣会社（社員）	・求人広告を出しても、応募者数は多いが年齢間のミスマッチにより、求める求職者に結び付いていない状況により、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・大きな新規出店の話など大きな雇用につながる話が出てこないため、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想する。
		職業安定所（職員）	・今月は新規求人数が前年同月比1.2%の減少となった。建設業及び医療や福祉などの業種においては人手不足となっている事業所もあるが、製造業の求人は減少しているため、今後2～3か月先の状況については変わらないと予想する。
	やや悪くなる	—	—
	悪くなる	—	—